

令和4年度

全国体力・運動能力、 運動習慣等調査

報告書



令和4年12月

スポーツ庁

令和4年度

全国体力・運動能力、 運動習慣等調査

報告書

目次

調査の概要.....	● 4
調査結果に関する注意事項と説明.....	● 6

調査結果の総括 7

I. 児童生徒の特徴について.....	● 8
II. 生活習慣の状況について.....	● 12
III. 体育・保健体育の授業について.....	● 15
IV. 学校の特徴について.....	● 18

第1章 調査結果の概要 21

I. 児童生徒に対する調査.....	● 22
II. 学校に対する調査.....	● 44

第2章 基礎集計 45

● 全国集計

I. 小学校児童の調査結果.....	● 46
II. 中学校生徒の調査結果.....	● 62
III. 学校質問紙の調査結果.....	● 78
IV. 教育委員会質問紙の調査結果.....	● 104

● 都道府県別集計

I. 小学校児童の調査結果.....	● 108
II. 中学校生徒の調査結果.....	● 116

資料編

125

-
- 実施要領 ● 126
 - 小学校（児童調査票・学校質問紙調査票・記録シート） ● 131
 - 中学校（生徒調査票・学校質問紙調査票・記録シート） ● 136
 - 教育委員会質問紙調査票 ● 141
 - 項目別得点表・総合評価基準表 ● 142
 - 調査協力者名簿 ● 144

● 調査の概要

1 調査の目的

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象及び内容

(1) 児童

① 調査対象者

小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員

② 調査内容

ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

(2) 生徒

① 調査対象者

中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員

② 調査内容

ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

(3) 学校

① 調査対象校

小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校

② 調査内容

質問紙調査（子供の体力の向上に係る学校の取組等）

(4) 教育委員会

① 調査対象

全教育委員会

② 調査内容

質問紙調査（子供の体力の向上に係る施策等）

3 調査の実施時期 令和4年4月～7月

4 調査の実施状況

(1) 児童生徒及び学校

	調査対象 児童生徒数 (A) ※	実施児童生徒数 (B)		実施率 (B/A)	調査対象校数 (C) ※	実施校数 (D)	実施率 (D/C)
		男子	女子				
小学校	1,065,863	501,742	484,114	92.5%	20,012	18,652	93.2%
国立	7,119	2,938	2,957	82.8%	111	85	76.6%
公立	1,047,859	496,037	477,508	92.9%	19,659	18,435	93.8%
私立	10,885	2,767	3,649	58.9%	242	132	54.5%
中学校	1,103,870	466,965	443,699	82.5%	11,018	9,754	88.5%
国立	10,809	4,212	4,260	78.4%	114	87	76.3%
公立	1,017,230	440,737	416,857	84.3%	10,145	9,192	90.6%
私立	75,831	22,016	22,582	58.8%	759	475	62.6%

※本調査の実施に際し、国立大学法人及び地方公共団体から回答を得た児童生徒数及び学校数による。

(2) 教育委員会

	調査対象教育委員会 (E)	実施教育委員会 (F)	実施率 (F/E)
教育委員会	1,801	1,430	79.4%
都道府県	47	47	100%
指定都市	20	20	100%
市区町村・組合	1,734	1,363	78.6%

● 調査結果に関する注意事項と説明

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査を行い、一部のデータ（実技調査の上限值・下限値からはみ出たデータなど）は集計・分析の対象外としている。
- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する必要がある。
- ④報告書に掲載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。
 小数第2位で示している数値→元の数値の小数第3位を四捨五入
 小数第1位で示している数値→元の数値の小数第2位を四捨五入
 （例：小学校男子の体力合計点 元の数値「54.1591……」
 →54.16（小数第3位を四捨五入）、54.2（小数第2位を四捨五入））
- ⑤集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。（複数回答を除く）
- ⑥本調査は平成20年度より実施しているが、平成22年度と24年度は抽出調査による実施、また平成23年度と令和2年度は中止した。

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数・学校数・教育委員会数。
平均値	・調査結果（テスト成績）の算術平均値で尺度における集団の代表値を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の分布の広がりを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の約68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/（標本数－1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・実技テスト項目における得点の合計。
1週間の総運動時間	・ふだんの1週間について「学校の体育・保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日おおよそどのくらいの時間していますか」に対する各曜日の回答の合計。 ※「体を動かす遊びを含む」の文言は平成26年度より追加した。 ※平成24年度までは、各曜日の運動時間を調査していないため、欄外の算出方法にて求めた。

●参考 1週間の総運動時間の算出方法（平成20、21、22、24年度）

- ①平日の運動時間：平日の時間帯別運動時間（朝始業前、中休み、昼休み、放課後、下校後）の回答を合計
- ②平日の運動日数：「運動やスポーツをどのくらいしていますか」の回答を次のように換算
（1.ほとんど毎日＝4日）（2.時々＝1.5日）（3.ときたま＝0.5日）（4.しない＝0.1日）
- ③平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④土曜日の運動日数：「ひと月あたり何回の土曜日に、運動やスポーツをしていますか」の回答を次のように換算
（1.月に1回＝0.25日）（2.月に2回＝0.5日）（3.月に3回＝0.75日）（4.月に4回＝1日）
- ⑤土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間×土曜日の運動日数④
- ⑥日曜日の運動日数：「ひと月あたり何回の日曜日に、運動やスポーツをしていますか」の回答を次のように換算
（1.月に1回＝0.25日）（2.月に2回＝0.5日）（3.月に3回＝0.75日）（4.月に4回＝1日）
- ⑦日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間×日曜日の運動日数⑥
- ⑧1週間の総運動時間：平日の総運動時間③＋土曜日の総運動時間⑤＋日曜日の総運動時間⑦